

東アジアと日本政治

日本・韓国・北朝鮮・中国の国境地域の現状

目次

はじめに

第一部 現地調査による報告と分析

一、中朝国境地帯から見る中国・北朝鮮関係の現在

佐渡友 哲

二、竹島・独島から見る日本と韓国の現在

孔 義 植
横 田 将 志

第二部 竹島・独島をめぐる日本と韓国の現状

一、竹島・独島問題めぐる視点

佐渡友 哲

二、竹島（独島）をめぐる日本・韓国・近隣諸国の関係と北東アジアの現状【論説】

山田 光 矢

第三部 資料

一、韓国の独島・竹島に関する研究及び市民団体の活動について

孔 義 植
崔 永 鎬

はじめに

日本大学法学部政経研究所では二〇一四年度より、「東アジアと日本政治」をテーマに、三ヶ年計画で共同研究を行ってきた。これまで東アジアの中でもとりわけ、隣接する韓国（北朝鮮を含む）や中国（台湾を含む）と日本の関係に注目し研究してきた。このプロジェクトでは、日本・中国・台湾・韓国・北朝鮮の政治的関係を理論的に分析することではなく、足元の国境地域で何が起こり、歴史的にどのような交流史があり、そこに政治的影響がどのように及んでいるのかなどに関心を向け、現地調査を中心に研究活動を行ってきた。現場で起きている現実についての実証

的研究である。これまで韓国との関係では釜山と対馬を訪問し、台湾との関係では台湾宜蘭県蘇澳鎮と沖縄県八重山地域を訪問し聞き取り調査を行ってきた。

昨年度は、夏には中国吉林省延辺朝鮮族自治州を訪問し、延吉市を拠点に中国と北朝鮮の国境の実態を中心に現地調査を行ってきた。今年三月には韓国慶尚北道鬱陵郡鬱陵邑を訪問し、崔永鎬先生のお骨折りで、鬱陵島を拠点に竹島・独島（ドクド）への上陸も果たすことができ、日本と韓国の竹島をめぐる国境問題を中心とした現地調査や実態調査を行ってきた。鬱陵島から独島・竹島への移動時には米韓軍事演習が行われており、航空母艦などにも遭遇したことで、韓国と北朝鮮の緊張状態の一端にも触れてきた。

今回の報告書の提出をもって、共同研究プロジェクトは終了する。多くの地域で我々の研究をサポートして下さった皆様にはこの紙面を借りて感謝の意を表したい。特に韓国の調査においては、複雑な国境問題を考慮して、事前に関係当局と連絡を取り、平穩な研究調査の進行に努めていただいた崔永鎬先生には、深く感謝する次第である。日韓（韓日）調査研究が思った以上の成果を上げることができたのは、ひとえに崔先生のご尽力のたまものである。また訪問の度に温かく我々を迎えていただき、いろいろな情報を与えて下さった新羅大学の先生方にも感謝申し上げたい。